

さまざまな取り組み

子どもたちへの読書支援

中央図書館では、子どもたちへの読書支援を目的として、児童図書を集めた「こどもの森」のコーナーを設けています。このコーナーでは、子どもたちが本に親しんでもらえるように、職員がカウンターで質問に答えたり、調べものを手伝ったりしています。



▶こどもの森カウンター

中央図書館での読み聞かせ

「こどもの森」の中にある「おはなしのへや」では「ねこやなぎおはなしの会」や「札幌おはなしの会」などの読み聞かせボランティアの方々が、子どもたちに読み聞かせなどを行っています。

「ねこやなぎおはなしの会」は、毎週木曜日と土曜日に読み聞かせなどを開催しており、ここで活動している富永政子さんと藤原かほるさんは「子どもたちにとくさんの本と出会って欲しい、そして自分らしい想像力で夢の世界を作り上げて欲しい」と思っています。「区民のページ表紙写真参照」

学校図書館の開放

市内の学校では、学校の図書館を児童や地域の人に開放し、絵本や児童書、一般図書の貸し出しのほか、読み聞かせなどを行っています。

中央区内でも、桑園、大倉山、日新、幌南小学校の四校で図書館の開放を行っています。（右下表参照）

そのうち桑園小学校の地域開放図書館「くわのみ」では、地域のボランティアの方に支えられ、昨年十一月に開館二十周年を迎えました。

活動は、本の貸し出しや選定、整理のほか、読み聞かせなどを行っています。（区民のページ表紙写真参照）
「くわのみ」で活動をしている川畑玲さんは「子どもたちとのふれあいが楽しみ。これからも皆さんに喜んでもら

〈中央区内にある地域開放図書館〉

学校名・(所在地)	電話	開放曜日	開放時間
桑園小学校 (北8西17)	611-4211	月・水・金	午後1時～4時
大倉山小学校 (宮の森3-13)	644-3984	月・木・金	午後1時～4時
日新小学校 (北8西25)	631-6361	火・水・木	午後1時～3時30分 (11月～3月)
		第3土曜日	午前10時～午後1時
幌南小学校 (南21西5)	521-0214	火・木・金	正午～午後3時

えるよう頑張ります」と話してくれました。



今回紹介したこと以外にも、図書館や図書室などでは、いろいろなサービスや本などがありますので、自分なりの利用の方法を見つけてみてはいかがでしょうか。

問い合わせ先

札幌市中央図書館

(南22西13)

☎ (512) 7320

ルールとマナーを守りましょう！

図書館を利用する際は、ルールやマナーを守り、みんなが気持ちよく利用できるように気をつけましょう。

- ◆走ったり、大きい声を出したりしないようにしましょう。
- ◆携帯電話の使用はやめましょう。
- ◆利用した本などは元の棚に戻しましょう。
- ◆借りた本は必ず期限内に返却しましょう。
- ◆指定された場所以外で、食べたり飲んだりしないようにしましょう。
- ◆図書館の本は、切り取ったり破いたり、また書き込みや汚したりしないようにしましょう。



◀カッターで切り取られた本

▶ペットがかんだ本



※特に最近では、故意や不注意による本の破損が著しく、ページを破いたり、カッターで切り取ったり、中にはペットが本をかんでぼろぼろにしてしまったりといったケースが発生しています。

図書館の本は、これから先ずっと保存され、後世に引き継がれるものです。大切に利用しましょう。